

北陸新幹線小松駅及び加賀温泉駅の発車メロディの決定

「石川県観光ブランドプロデューサー 松任谷由実さんが作曲（松任谷正隆さんが編曲）」

このたび、JR西日本が北陸新幹線小松駅及び加賀温泉駅の発車メロディを決定しましたのでお知らせします。

1. 作曲家の選定理由

松任谷由実さんには、北陸新幹線金沢開業を契機として、平成27年3月から石川県観光ブランドプロデューサーに就任していただいております、これまでシンガーソングライターとしての発信力と幅広い人的ネットワークを活かして本県の魅力を発信していただくとともに、アーティストとしての独自の視点で石川の観光ブランドの向上に寄与していただいております。

今回、新幹線新駅の発車メロディ制作に際して、地元の小松市、加賀市とも協議を行い、新幹線新駅を広く全国にPRできるよう、日本を代表するアーティストであり、本県ともゆかりの深い松任谷由実さんに作曲をお願いしました。

2. 発車メロディに関する松任谷由実さんのコメント

◎新幹線小松駅発車メロディ

小松といえば、空港。
いえいえこれは列車のための曲。
でも数年前、私の中に、小松の新しい印象が加わりました。
デビュー45周年記念だったタイムマシーン・ツアーのリハーサルを、
小松ドームをお借りして行っていた期間中、折りしも自衛隊小松基地の
航空ショーの日程と重なったのです。
周辺の道路は全国からの航空機オタク、写真オタクで大賑わい。
私までなんだか改めて、空への憧れをかき立てられてしまいました。
そこで、マーチを感じさせるような、勇気が湧く曲を作ってみたくなりました。
小松駅に降り立つひと、小松駅を通過するひとが、ふと空を見上げて
元気になってくれたらなあ、と思います。
そして、いつかこの曲を吹奏楽にして、航空ショーで演奏してもらうのが私の夢です。

◎新幹線加賀温泉駅発車メロディ

もう50年近い昔、ラジオのキャンペーンで初めて金沢に向かうために
乗った北陸本線。
もうすぐ目的地というその車窓から見た加賀温泉駅は、ひとつだけの
ホームと小さな改札舎が、しっとりと降る雪に包まれていました。
「加賀」という響きと「温泉」が相まって、いかにも雅で秘めやかな日本の風情を、
短い曲から感じとっていただけたらうれしいです。

(参考) 松任谷由実さんプロフィール

生年月日：1954年1月19日

出身：東京都

通称ユーミン。72年、多摩美術大学在籍中にシングル「返事は知らない」で旧姓・荒井由実としてデビュー。

それまでのフォークソングとは一線を画する、ファッション性の高いメロディと独自の写実的な歌詞で、女性シンガー・ソングライターの草分け的な存在に。

そのスタイルは「ニュー・ミュージック」と呼ばれたたくさんのフォロワーを生み、全く新しい音楽ジャンルとして確立し、後の「J-POP」の源流となった。

2013年 紫綬褒章受章

2015年 石川県観光ブランドプロデューサー就任

2022年 文化功労者に選出

(参考) 新幹線金沢駅発車メロディ（オリジナル曲）について

・制作者：音楽家・中田ヤスタカさん（金沢市出身）

・発車メロディのコンセプト

金沢の山から海にかけての起伏ある自然条件と「伝統と創造」が調和するまちのイメージと、新車両も有する北陸新幹線の「スピード感と快適性」を感じ取れるよう表現したメロディ

※石川県内の新幹線駅(金沢駅、小松駅、加賀温泉駅)の発車メロディは全てオリジナル曲で制作